

カムエク登山 (1)

2015.7.2~5 N氏と

日本三百名山挑戦中のN氏との約束の山、いや私にとっては長年の夢であった山です。単独行ではチョット厭らしいので相棒を探していたがなかなか見つからなかった。数年前にやはり三百名山挑戦中の埼玉県のU氏からお誘いを受けたが当時は仕事をしていて、長い休暇が取れなかったので断念。7/1以降天候を見てとの予定であったが、道路の開通が遅れて開通が7/1の11:00と予定されたのが6月末。7/1は天候悪く、7/2からに決める。7/1はN氏と帯広市内のホテルに宿泊して、最後の打ち合わせ。7/2~3の夜中に小雨予報。7/2車が入れるようになった札内川ヒュッテ横のゲートに向かう。日高山脈山岳センターとピュータンの滝を見て。ゲート前の駐車場には釣り師の車が数台停まっている。札内川ヒュッテは小奇麗な避難小屋である。

ピュータンの滝



札内川ヒュッテ



北海道の避難小屋は何故か登山口にあるのが多いが不思議である。すぐトンネルになり抜けると「コイカクシュサツナイ岳」の登山口があった。

コイカク登山口



ここでN氏から明日に延期にしないかと言う事で引き返して日高山脈山岳総合センターで泊まる事にする。立派な施設で登山者は2000円で泊まれる。山岳関係の資料や展示品も立派である。ヒグマのはく製が展示されているが昭和45年7/25に福岡大学ワンダーホーゲル部員3名をカムエクの八の沢カールで襲って殺した4歳雌のヒグマで後日射殺された物だ。明日からの山行に気

合が入る。

日高山脈山岳センターの展示室、
右がカムエク、左がミラミッド峰

各種資料が

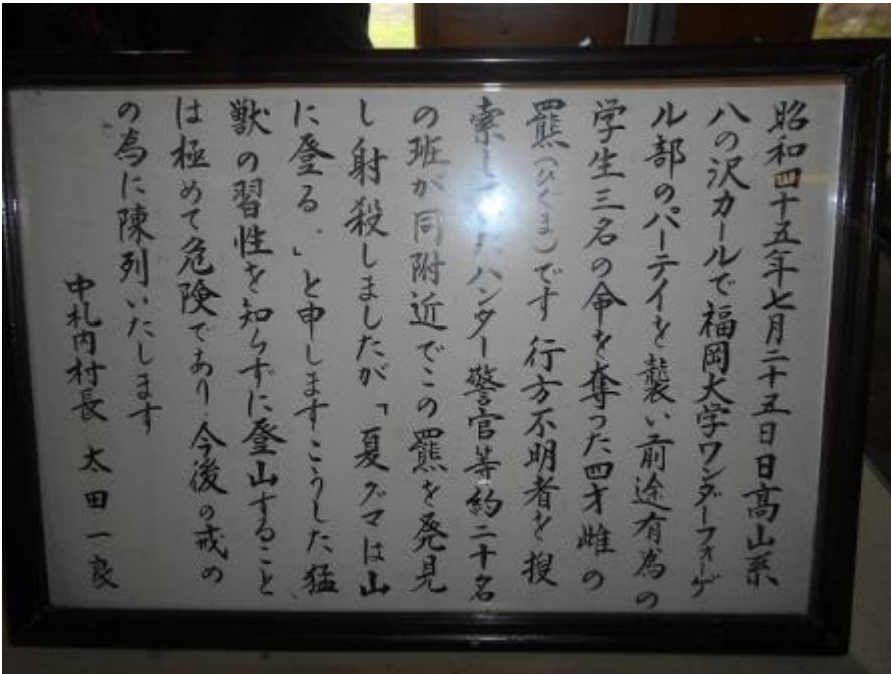


N氏と

3名を襲ったヒグマ



ヒグマに注意



泊り客は我々だけだった。このカムエクは 1979M、日高山脈では幌尻岳につぐ高峰で、中日高の代表格と言ったら男性的なカムエクと牛の背を思わせるペテガリ岳の2座である。

展示室風景



共に日本二百名山であり、難関の山になっている。特にカムエクは登山道が基本的に無く、札内川の渡渉（増水すると渡れない）、雪渓歩き、長い高低差のある滝の高巻、山中テント泊2泊（健脚者は1泊だが）、そして何より

ヒグマの生息数が多い事など「登山の原点」のような山である。私は今年でハードな山行は終了する、記念に登りたい山である。

赤沼健治